ファーマライズホールディングス株式会社

Pharmarise Holdings

Company Information Session 2014

Pharmarise HOLDINGS

会社説明会資料

2014年
2月21・22日

2014年5月期

東証二部 証券コード：2796

おかげさまで、2014年2月17日をもちまして
東京証券取引所 市場第二部に
市場変更となりました。

ファーマライズホールディングス株式会社

ファーマライズグループは
常に選ばれる薬局であるために
新たな挑戦を続けます。

Pharmarise
HOLDINGS

Pharmarise Holdings 2014

Company Information Session

03 会社概要

09 成長戦略

13 事業展開

28 決算概要

32 株主還元

Pharmarise HOLDINGS

会社説明会資料

Contents

Pharmarise
HOLDINGS

Pharmarise Holdings 2014
Company Information Session

会社説明会資料

会社概要

会社プロフィール

Company Information Session

社　　名	ファーマライズホールディングス株式会社 Pharmarise Holdings Corporation
本　　社	〒164-0011　東京都中野区中央1丁目38番1号
代 表 者	代表取締役社長　大野 利美知
設　　立	1984年6月
資 本 金（2013年11月末現在）	815,545千円
従業員数（非常勤含む） （2013年11月末現在）	連結 1,186名
主たる事業内容	持株会社体制による調剤薬局等の経営（連結）
店舗数 （2013年12月末現在）	当社グループ 217店舗（連結 210店舗） 北海道地区：42店舗　中部地区：65店舗 東 北 地 区 ：23店舗　関西地区：45店舗 関 東 地 区 ：41店舗　九州地区：　1店舗

当社の沿革

Company Information Session

Pharmarise HOLDINGS

1984年	**東京都豊島区に当社の前身となる株式会社東京物産を設立**
1987年	東京都文京区湯島に1号店を開局して調剤薬局の営業を開始
1997年	有限会社みなみ薬局(現株式会社みなみ薬局)を100%子会社化 名古屋市中川区に日本薬物動態研究所(現ファーマライズ医薬情報研究所)を設立
2000年	有限会社南魚沼郡調剤センター(現株式会社南魚沼郡調剤センター)を子会社化
2001年	福島県の株式会社エンゼル調剤薬局を吸収合併
2002年	**株式会社東京物産からファーマライズ株式会社に商号変更**
2004年	京都府の株式会社双葉を100%子会社化
2005年	株式会社ツジ薬局から愛知県内の5店舗を取得
2007年	**ジャスダック証券取引所(現東京証券取引所)に株式上場**、北海道の株式会社ふじい薬局を100%子会社化
2009年	**会社分割により持株会社体制に移行、それに伴い、ファーマライズ株式会社から ファーマライズホールディングス株式会社に商号変更**、東京都の株式会社三和調剤を連結子会社化 北海道の株式会社ハイレンメディカル(現北海道ファーマライズ株式会社)を100%子会社化
2010年	東京都の有限会社北町薬局(現株式会社北町薬局)を100%子会社化 宮城県の有限会社エム・シーと業務資本提携、兵庫県の新世薬品株式会社と業務資本提携
2011年	**第三者割当増資の実施により資本増強、株式会社ほくやく・株式会社バイタルネット・中北薬品株式会社・伊藤忠商事株式会社と 業務資本提携**、大阪府の株式会社テラ・ヘルスプロモーションを100%子会社化
2012年	兵庫県の新世薬品株式会社を100%子会社化 栃木県の株式会社寿製作所を100%子会社化
2013年	北海道の有限会社たかはし(現株式会社たかはし)を100%子会社化
2014年	**岩渕薬品株式会社と業務資本提携 東京証券取引所市場第二部へ市場変更**

グループ体系（2013年12月現在）

Company Information Session

Pharmarise HOLDINGS

グループ全体で217店舗
連結210店舗

ファーマライズホールディングス株式会社
（持株会社）　資本金815百万円

グループ形成の理念は
地域医療

連結子会社

ファーマライズ株式会社	93店舗	株式会社レイケアセンターを含む ファーマライズ薬局 等
株式会社みなみ薬局	27店舗	株式会社東京みなみ薬局、日本メディケア 株式会社を含む、みなみ薬局 等
株式会社南魚沼郡調剤センター	2店舗	南魚沼センター薬局 トリム薬局
株式会社双葉	7店舗	双葉薬局、ふたば薬局 ふじのもり薬局 等
株式会社ふじい薬局	19店舗	ふじい薬局 等 化粧品販売1店舗を含む
株式会社三和調剤	3店舗	三和薬局 2009年9月に株式取得
北海道ファーマライズ株式会社	22店舗	N5タワー薬局 等 2009年9月に株式取得
株式会社北町薬局	7店舗	キタマチ薬局 等 2010年1月に株式取得
株式会社テラ・ヘルスプロモーション	7店舗	さくら薬局 等 2011年9月に株式取得
新世薬品株式会社	17店舗	※新世薬局 等 2012年10月に株式取得
株式会社たかはし	3店舗	たかはし薬局 2013年4月に株式取得
株式会社寿製作所	---	2012年11月に株式取得
ファーマライズプラス株式会社	3店舗	2013年3月に設立

※有限会社エス・アンド・エス、有限会社サクラファーマシータミー店を含む

持分法適用会社

有限会社エム・シー	7店舗	所有割合34.0% 2010年3月に資本業務提携
株式会社メディカルフロント	---	所有割合42.1% 2011年6月に資本提携

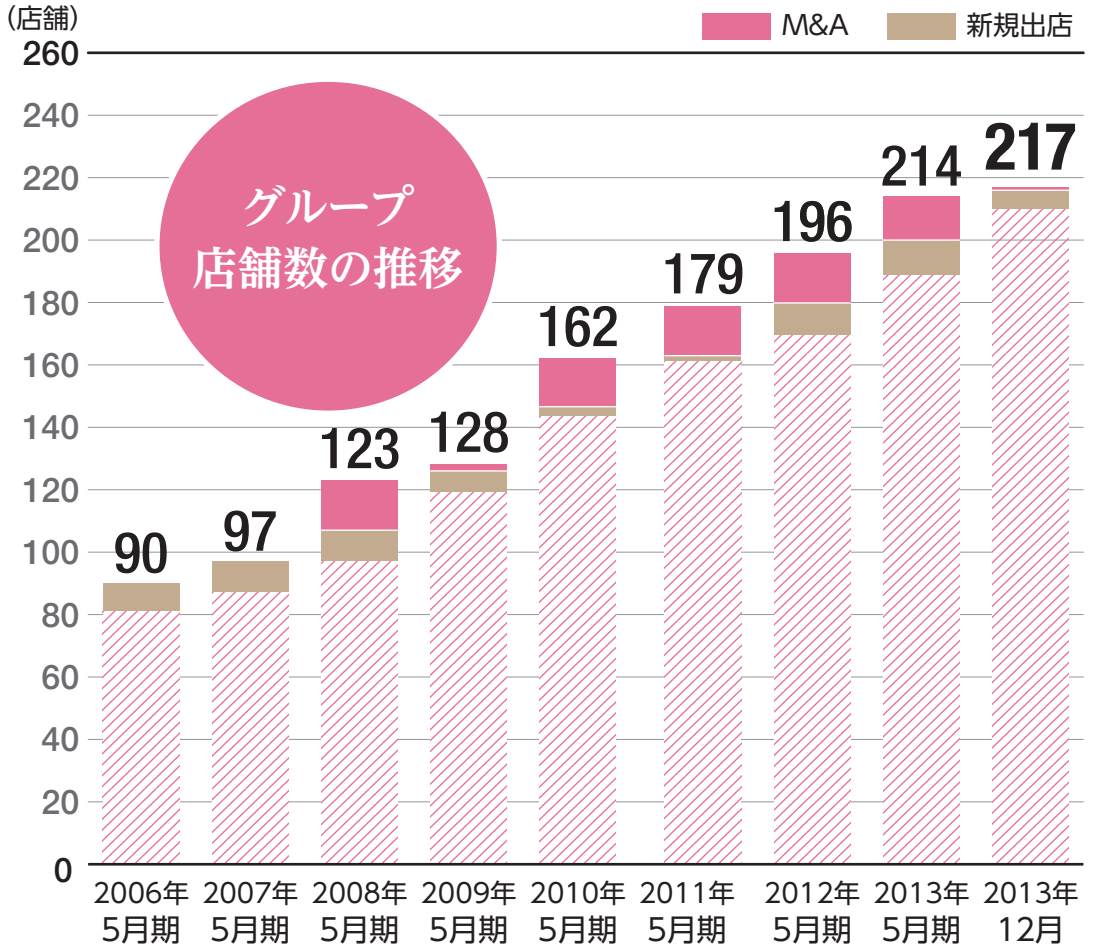
出店状況

Company Information Session

主な増加店舗

2013年	2月	深川店(北海道)
	4月	淀店(京都)　宮崎店(宮崎) (有)たかはしの子会社化により北海道3店舗を取得
	5月	トリム北野田店(大阪)
	6月	留萌大町店(北海道)
	8月	みよし店(愛知)
	10月	ファミリーマート＋ ファーマライズ薬局 末広町店(東京)
	11月	西友ひたち野うしく店(茨城) 納店(兵庫)
	12月	西友福生店(東京) 富士店(静岡)

西友ひたち野うしく店



※2013年2月に資本業務提携を解消した、アポテックホールディングスの店舗は含めていません。

都道府県別出店状況

Company Information Session

Pharmarise HOLDINGS

地方のドミナント形成を推進

グループ全体（217店舗）

西日本地区での展開も視野に

医薬分業進捗度（2012年度集計）

- 50%以上
- 40%以上50%未満
- 40%未満

全国平均 66.1%（2012年度調剤分）

（出典：公益社団法人日本薬剤師会「平成24年度集計処方箋受取率の推計」）

Pharmarise HOLDINGS

Pharmarise Holdings Company Information Session 2014

会社説明会資料

成長戦略

SWOT分析（外部・内部環境の分析）

Company Information Session

Pharmarise HOLDINGS

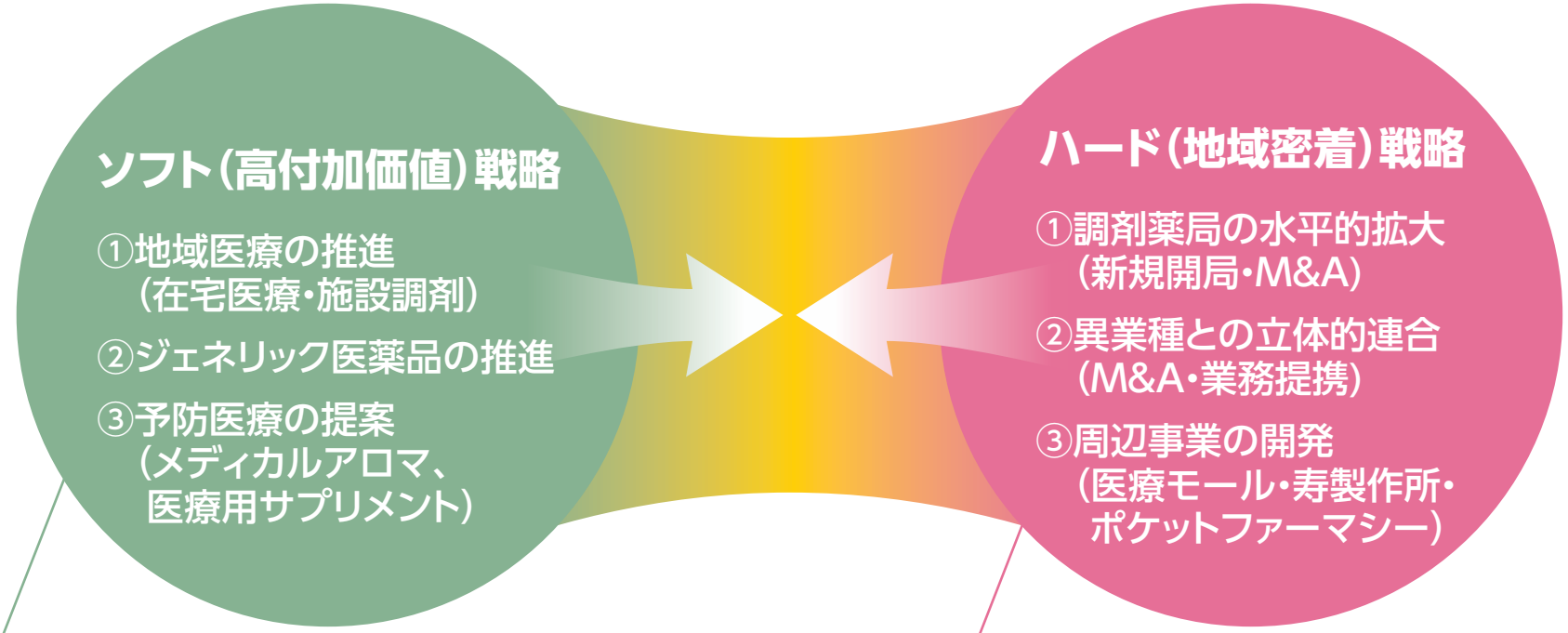
		外部環境	
		機会 Opportunities ・国民医療費の増加 ・医薬分業の進展 ・低い市場寡占比率	**脅威 Threats** ・医療法の改定（薬価、調剤報酬の改定） ・消費税の増税 ・熾烈な市場参入、競争の激化
内部環境	**強み Strengths** ・地域医療（在宅、施設）の経験、ノウハウ ・厳選した推奨ジェネリック医薬品の蓄積 ・予防医療の提案実績、独自ツールの提供（メディカルアロマ、医療用サプリメント） ・周辺事業の開拓、異業種との業務提携	**積極的攻勢** ・地域密着型の全国展開（水平的拡大） ・地域医療ネットワークの拡充 ・「安全と安心」に基づくジェネリック医薬品の推進 ・新たな薬局機能の提案 ・薬剤師のレベルアップ、役割の多様化	**差別化戦略** ・地域密着卸との連携（立体的連合）、コスト競争力の引き上げ ・業務提携による新型店舗・新業態の開発・運営 ・サービス品質の更なる向上、リピーターの獲得
	弱み Weaknesses ・調剤薬局事業への依存度の高さ ・自己資本、自己資本比率が低水準	**段階的施策** ・周辺事業の拡充 ・自己資本の充実、バランスの取れた財務基盤の確立	**専守防衛** ・アライアンスによる規模の追求 ・異業種との更なる連携

成長戦略の構造

Company Information Session

ソフトとハードの有機的な融合

闇雲な拡大戦略と一線を画し、質と量の「バランス良い両立」を目指す。



戦略目的

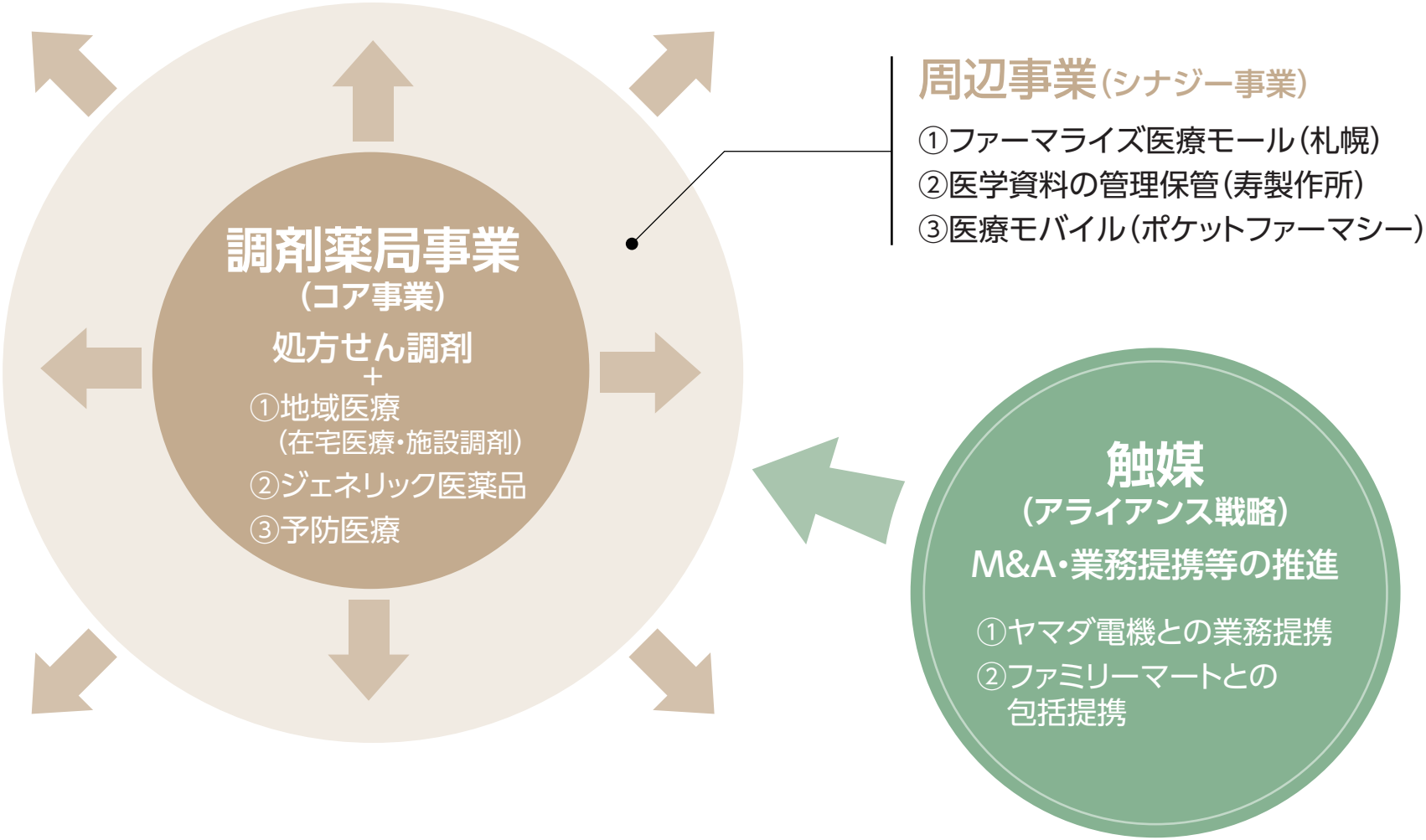
患者と医療政策の問題意識を先取りし、患者の信頼と利便性を高めることで調剤報酬を確保する。

戦略目的

地域医療に密着し、地域で最も信頼される薬局チェーンの連合体を目指す。

事業体系の成長イメージ

Company Information Session



Pharmarise
HOLDINGS

Pharmarise Holdings Company Information Session 2014

会社説明会資料

事業展開

処方せん調剤 基本業務のフロー

Company Information Session

Pharmarise HOLDINGS

医薬品・
在庫の管理

医師との
情報共有

処方せん
のチェック

・薬の相互作用
・禁忌

調剤

服薬説明

・推奨ジェネリックの説明

薬歴記入
服薬管理

薬学に基づく安全安心の調剤、コミュニケーションによる情報共有化

調剤業務は、常に正確さが求められます

服薬管理は
地域医療における
重要な構成要素

在宅医療 地域医療

Company Information Session

Pharmarise HOLDINGS

医師・看護師との連携で医療チームを形成

医師

看護師

薬剤師

患者本位の治療

医師との情報共有

処方設計とチェック

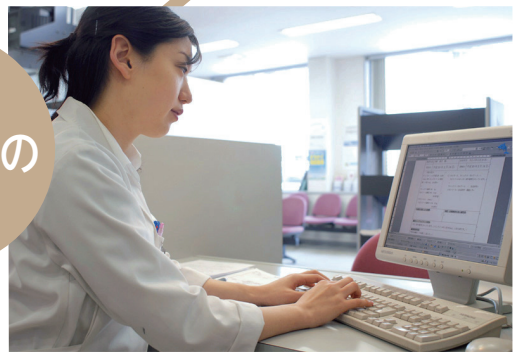
調剤

・点滴の無菌製剤

患者宅訪問

服薬説明と確認

医師・看護師への報告



打合わせ

施設調剤 地域医療

Company Information Session

Pharmarise HOLDINGS

医師・看護師との連携と独自の取り組みで、個々の患者に合わせたきめ細やかな対応

医師の指示

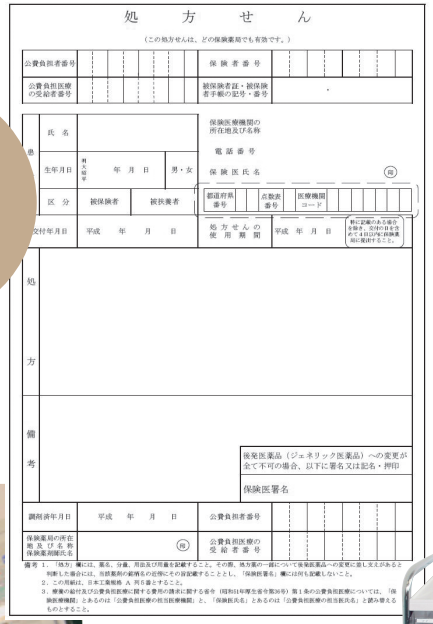
処方せんのチェック

調剤

施設訪問

服薬の確認

院内ミーティング


処　方　せ　ん

（この処方せんは、どの保険薬局でも有効です。）

公費負担者番号　保険者番号

公費負担医療の受給者番号　被保険者証・被保険者手帳の記号・番号

患者 氏名　保険医療機関の所在地及び名称　電話番号

生年月日　明・大・昭　年　月　日　男・女　保険医氏名　㊞

区分　被保険者　被扶養者　都道府県番号　点数表番号　医療機関コード

交付年月日　平成　年　月　日　処方せんの使用期間　平成　年　月　日　特に記載のある場合を除き、交付の日を含めて4日以内に保険薬局に提出すること。

処方

備考　後発医薬品（ジェネリック医薬品）への変更が全て不可の場合、以下に署名又は記名・押印　保険医署名

調剤済年月日　平成　年　月　日　公費負担者番号

保険薬局の所在地及び名称　保険薬剤師氏名　㊞　公費負担医療の受給者番号

備考　1．「処方」欄には、薬名、分量、用法及び用量を記載すること。その際、処方薬の一部について後発医薬品への変更に差し支えがあると判断した場合には、当該薬剤の薬剤名の近傍にその旨記載すること。「保険医署名」欄には何も記載しないこと。

2．この用紙は、日本工業規格 A 列５番とすること。

3．療養の給付及び公費負担医療に関する費用の請求に関する省令（昭和51年厚生省令第36号）第１条の公費負担医療については、「保険医療機関」とあるのは「公費負担医療の担当医療機関」と、「保険医氏名」とあるのは「公費負担医療の担当医氏名」と読み替えるものとすること。

お薬カレンダー

お薬カート

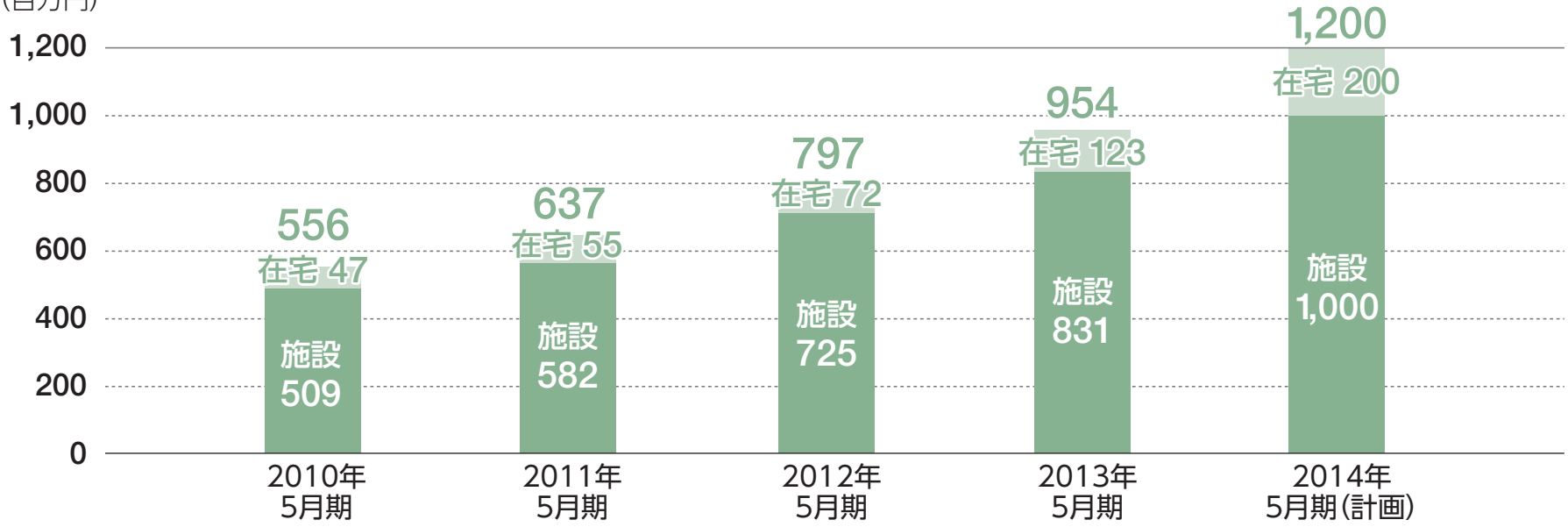
在宅医療・施設調剤の実績

地域医療

Pharmarise HOLDINGS

- 地域医療の拠点（包括支援センター等）と積極的に連携
- コミュニケーション能力に優れた薬剤師を確保・育成

在宅医療・施設調剤の売上高



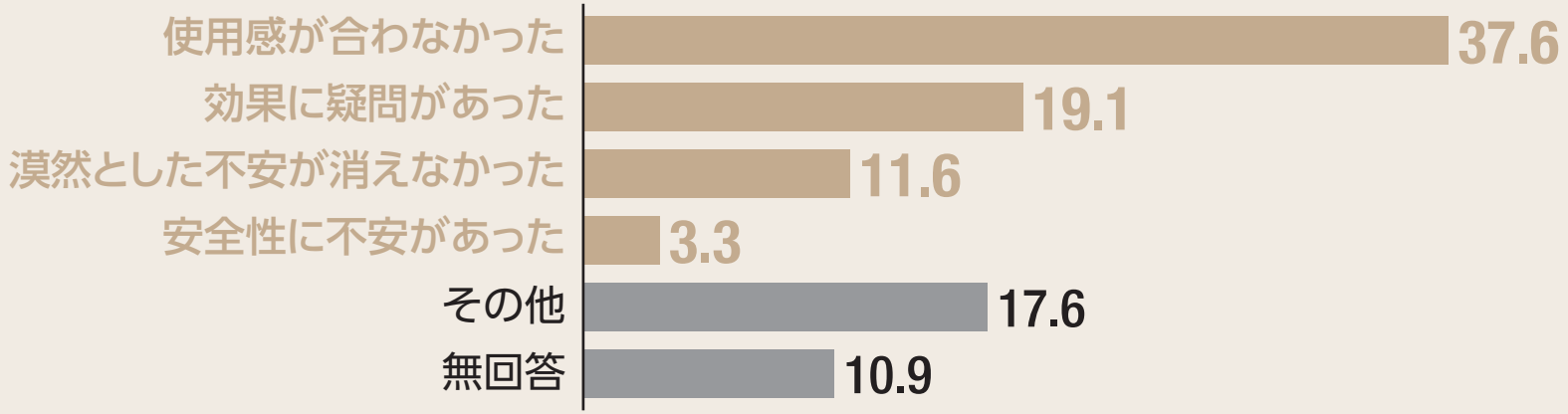
単位／枚、件

		2010年5月期	2011年5月期	2012年5月期	2013年5月期	2014年5月期（計画）
処方せん枚数（年間累計）	在宅医療	2,381	2,876	3,559	6,691	11,000
	施設調剤	69,808	79,106	90,027	103,077	125,000
件数（期末月）	在宅件数（在宅医療）	125	153	218	338	560
	取扱施設数（施設調剤）	86	97	130	154	200

ジェネリック医薬品（後発医薬品）の使用促進には「不安感の解消」と「安全と効果の担保」が重要

（単位／%）

後発医薬品への調剤変更を行った患者のうち2回目以降に後発医薬品の使用を希望しなかった理由



社団法人日本薬剤師会「後発医薬品の使用状況調査」

ジェネリック医薬品

Company Information Session

当社推奨
ジェネリック医薬品の選定

Pharmarise HOLDINGS

不安感解消のために
「安全と効果」に基づき、推奨ジェネリック医薬品を選定

当社のジェネリック医薬品選定基準

メーカー基準

①ホームページへの医療情報の登録の有無
②生物学的同等性試験の掲載有無
③溶出試験の掲載有無
④安定性データの掲載有無
⑤安全性試験の掲載有無
⑥先発品との対比表の掲載有無
⑦剤形写真の掲載有無

医薬品基準

①品質再評価対象の場合は、品質・再評価終了もしくは再評価公示後承認の有無
②生物学的同等性試験データの有無とその情報
③溶出試験データの有無とその情報
④無包装状態での安定性データの有無とその情報
⑤粉砕可否のデータの有無とその情報（内服固形製剤）
⑥適応症が同一かどうかの状況
⑦複数規格の対応の状況　など

選定基準に
合致した
ジェネリック医薬品
のみ取り扱う

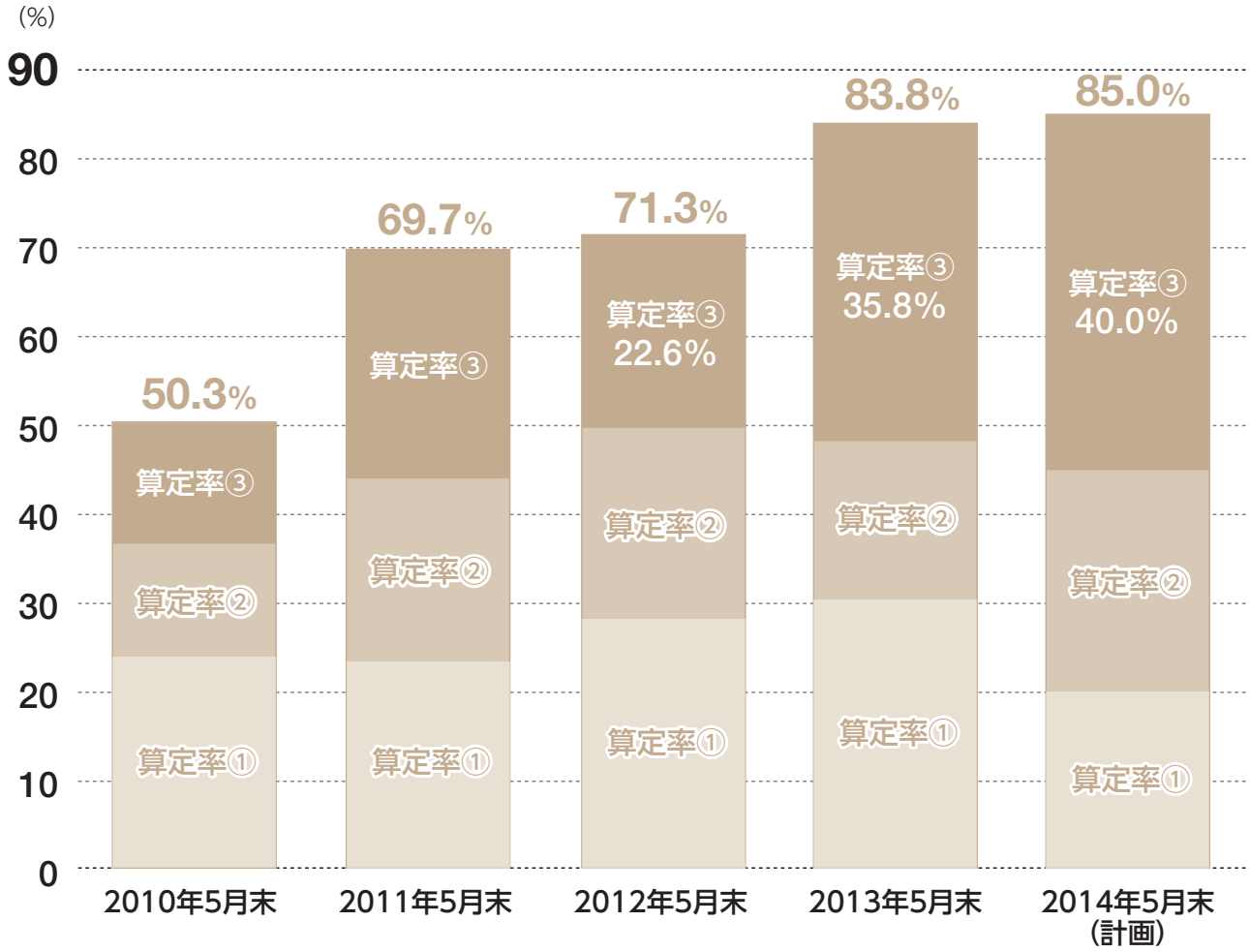
当社推奨の
ジェネリック
医薬品

2010年5月
約200品目

2013年5月
約1,000品目
内服800／外用200

ジェネリック医薬品の実績

Company Information Session



調剤体制加算を算定している店舗の比率

算定率③
ジェネリックの数量割合35%以上（19点）

算定率②
ジェネリックの数量割合30%以上（15点）

算定率①
ジェネリックの数量割合22%以上（5点）

予防医療の提案

Company Information Session

医療用サプリ&メディカルアロマ

Pharmarise HOLDINGS

処方せんの
チェック機能 ＋ 予防医療の
提案機能 ＝ 新たな付加価値を
備えた薬局機能

予防医療提案のための当社独自のツール

医療用サプリメント
4大疾患・骨粗しょう症等の
予防根拠の学術論文あり

メディカルアロマ
禁煙補助・インフルエンザ予防・
認知症の状態改善の学術論文あり

予防医療の提案

調剤との相乗効果を期待

Company Information Session

一般用医薬品

禁煙補助薬等の「第一類医薬品」を
中心に販売しています

医療用サプリメント&メディカルアロマ

論文根拠に基づく有効成分で構成された医療用
サプリメントやメデイカルアロマを取り扱っています

調剤との相乗効果を期待

2013年5月期の売上実績は1億5,100万円
2014年5月期は2億5,000万円を計画

ファーマライズ医療モール(札幌)

Company Information Session

Pharmarise HOLDINGS

名　　称	ファーマライズ医療モール
所 在 地	札幌市中央区北5条西2丁目5番地 JRタワーオフィスプラザさっぽろ7～9階部分
医療機関等	クリニック10、薬局2、検査1、その他4　計17
2013年5月期実績	売 上 高：516百万円 営業利益：95百万円

医学資料の保管管理 (寿製作所)

Company Information Session

医学資料の保管管理業務を行う株式会社寿製作所を2012年10月31日付で完全子会社化しました。

商号	株式会社寿製作所
本店所在地	栃木県足利市
事業内容	紙カルテやレントゲンフィルム等の保管管理業務

2014年5月期(計画)

売上高	**824** 百万円
営業利益	**163** 百万円

戦略的意図

①シナジー戦略
(周辺事業との連合によるシナジー実現)

②ニッチ戦略
(競合の少ないニッチ市場で圧倒し、長期安定利益を得る)

③市場開拓戦略
(関係の深い医療機関に対しサービス提案し、設備稼働率を高める)

医療モバイル (ポケットファーマシー)

Company Information Session

Pharmarise HOLDINGS

ポケットファーマシーとは、
関連会社のメディカルフロントが
開発したクラウドサーバを活用した
独自のモバイルコンテンツ。

コンセプト

薬剤師が中心となって医療の安全・安心・便利を作り上げる仕組み

機　能

①電子お薬手帳

処方歴の確認、処方薬情報の検索、服薬アラームのセット等

②医薬品関連情報の検索機能

医薬品の添付文書、ジェネリック、同種同効表示、相互作用チェック等

③在宅業務の支援機能

服薬指示書や家族状況を患者・医師・薬剤師・看護師で共有

株式会社ヤマダ電機との業務提携

Company Information Session

2012年10月19日に株式会社ヤマダ電機と業務提携契約を締結しました。

業務提携の内容

1. 「LABI1 日本総本店 池袋」内の
調剤薬局事業に関する業務提携
2. 「LABI1 日本総本店 池袋」以外の店舗における
調剤薬局事業に関する業務提携
3. ポケットファーマシーに関し、
ヤマダ電機の調剤薬局事業への導入に関する業務提携

ヤマダ電機　LABI1　日本総本店　池袋

株式会社ファミリーマートとの包括提携

Company Information Session

●2013年5月1日付で株式会社ファミリーマートと包括提携契約を締結しました。
●2013年10月1日付で包括提携に基づく新コンセプト型店舗の第1号店
（ファミリーマート+ファーマライズ薬局 末広町店）を開局しました。

包括提携の内容

1	当社をフランチャイジー、株式会社ファミリーマートを フランチャイザーとするフランチャイズ契約を締結。
2	契約期間10年。 当社2年間を実験期間と定め、その後の展開方針を協議。
3	今期来期で5店舗程度の出店を想定。

ファミリーマート+ファーマライズ薬局　末広町店

Pharmarise HOLDINGS

Pharmarise Holdings Company Information Session 2014

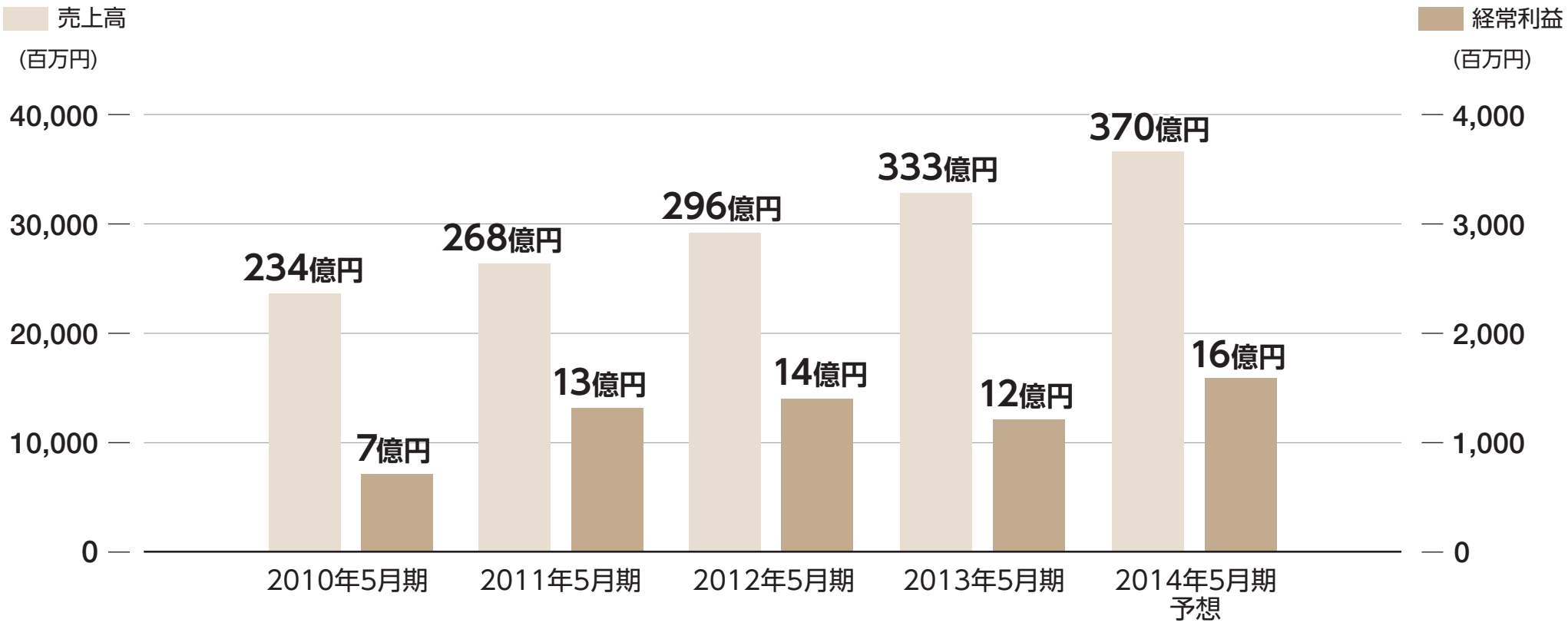
会社説明会資料

決算概要

連結業績推移

Company Information Session

売上高・経常利益



連結決算ハイライト（2014年5月期中間期）

Company Information Session

Pharmarise HOLDINGS

売上高

- 既存店売上高の堅調推移（前年同期間比+3.5%）
- 前期に子会社化した4社の寄与（+2,572百万円）

利益

- 増収効果等により増益（営業利益、経常利益）
- 固定費は増加（人件費・のれん償却）

単位／百万円、%

	2012年11月中間期	伸び率	2013年11月中間期	伸び率
売上高	14,995	5.3	18,393	22.7
営業利益	639	△21.9	732	14.6
経常利益 （売上高経常利益率）	506 (3.4%)	△30.5	613 (3.3%)	21.1
中間期純利益	643	63.6	192	△70.1

※2012年11月中間期は特分法適用関連会社の子会社化に伴い、特別利益413百万円を計上しました。

連結業績予想（2014年5月期）

Company Information Session

Pharmarise HOLDINGS

増収額 +3,643百万円

①新規出店計画　年間14店舗	+900百万円
②既存店売上高+0.6%	+160百万円
③前期にM&A取得した4社※の通年効果	+2,530百万円
④テラ・ヘルスの決算期間（14ヶ月→12ヶ月）	△240百万円
⑤前期に出店した11店舗の通年効果等	+293百万円

※4社の内訳は新世薬品、寿製作所、東京みなみ、たかはし

営業利益増加額 +399百万円

①売上増加による効果	+408百万円
②原価率低下による効果	+296百万円
③固定費増加による効果	△305百万円

単位／百万円、%

	2013年5月期		2014年5月期（予想）	
	金額	伸び率	金額	伸び率
売上高	33,357	12.7	37,000	10.9
営業利益	1,411	△14.8	1,810	28.2
経常利益 （売上高経常利益率）	1,228 (3.7%)	△16.5	1,640 (4.4%)	33.5
当期利益	958	39.7	700	△26.9

※2013年5月期は特分法適用関連会社の子会社化に伴い、特別利益466百万円を計上しました。

Pharmarise HOLDINGS

Pharmarise Holdings Company Information Session 2014

会社説明会資料

株主還元

株主優待制度について

Company Information Session

Pharmarise HOLDINGS

1 対象株主

11月30日基準で当社株式名義に記載（記録）された1株以上を保有する株主様

※2013年12月1日付けで普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行うとともに100株を1単元とする単元株制度を採用したため、以降は1株以上を1単元（100株）以上に読み替えます。

2 優待内容

以下の3つの中から株主様が選択

❶ アロマペンセット

①オリジナルのアロマペン
②エッセンシャルオイル2ml 3本
③本体取扱説明書

❷ 医療用サプリメント（UPX）

錠剤ボトル入りマルチビタミン
120錠（1ヶ月分目安）

❸ 医療用サプリメント（C-Max）

錠剤ボトル入りビタミンC
90錠（1ヶ月分目安）

※画像はイメージです。製品のデザインは変更になる場合があります。

3 目的

- 日頃からのご支援に感謝し、当社株式の投資魅力を高める。
- 当社の取り扱い商品をお試しいただき、ご理解を深めていただく。
- 株主数の増加を図り適正株価の形成を促す。

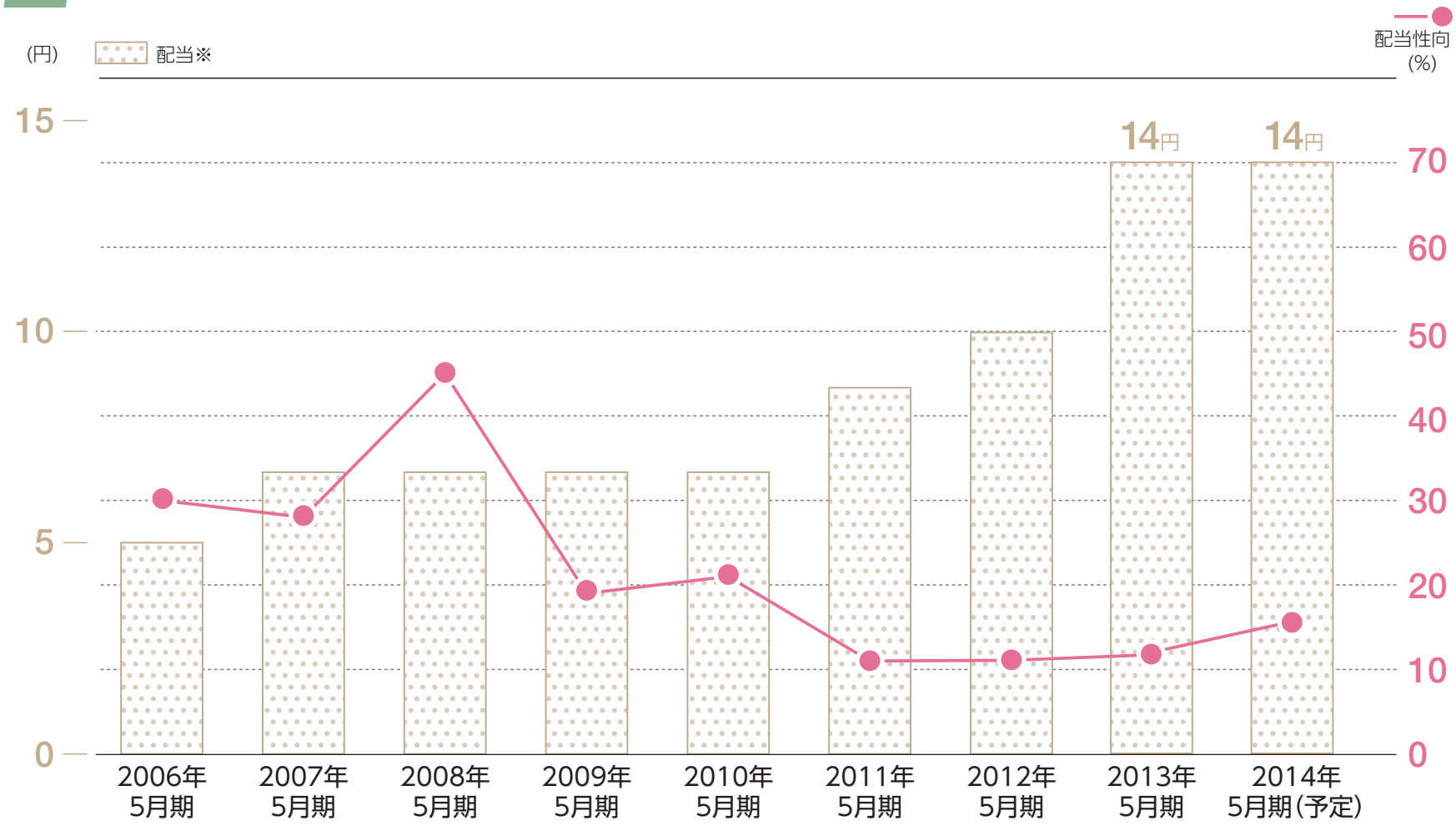
配当政策について

Company Information Session

Pharmarise HOLDINGS

1 安定的かつ継続的に成長に見合った配当を行う

2 2014年5月期も1株当たり14円(配当性向15%)を予定



※2013年12月1日付けで普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行うとともに100株を1単元とする単元株制度を採用したため、過年度の配当金額は遡及修正しています。

Pharmarise
HOLDINGS

本日はお忙しい中、
誠にありがとうございました。

お問い合わせ先
経営企画部

TEL 03-3362-7130　FAX 03-3362-7190
E-MAIL: ir@pharmarise.co.jp

ホームページも是非ご覧下さい。http://www.pharmarise.com/

将来予測について

本資料のうち、業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断、及び仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。